

(平成 26 年 6 月 16 日掲載)

(1) 磯鶏地区の状況

磯鶏地区は、JR 宮古駅から南へ 3 キロメートル、国道 45 号線に面し、神林木材港、高浜港、藤の川海水浴場、アサリ採りで有名な金浜海岸があります。

当地区には、岩手県立大学宮古短期大学部、国立宮古海上技術短期大学校、宮古水産高校、宮古商業高校、河南中学校、磯鶏小学校、高浜小学校、市民文化会館などがあり、宮古市の文教地区ですが、海岸に面しているため、津波で宮古警察署、森林管理署などの公共施設が全部流されてしまいました。

現在、宮古水産高校のグラウンドに 90 世帯、その他の児童公園 3 か所に 90 世帯の応急仮設住宅が建っています。また、藤原埠頭は宮古市の震災による廃棄物の置場になっているために、たくさんのダンプカーが往来し、多くの人々が選別作業を行なっています。



児童公園の仮設住宅

磯鶏地区民児協は、磯鶏、八木沢、高浜、金浜の各地区の民生委員・児童委員 14 名、主任児童委員 2 名で構成され、定例会は、毎月第 4 土曜日の午前 10 時 30 分から正午まで磯鶏公民館で行なっています。被災した委員もいるなか、参加率は 90% で、みんなががんばっています。

(2) 現在の様子と課題

藤原埠頭に積み上げられた震災による廃棄物の撤去作業が本年 3 月に終了し、現在はテトラポットがたくさん造られています。また、津波で全壊した磯鶏のヨットハーバーも、復旧となります。

一部の応急仮設住宅では、敬老会、新年会などの行事を、家族や地区住民が協力し合い、合同で行なって良好な関係を築いています。当民児協でも磯鶏小学校と懇談会を持ち、応急仮設住宅から通っている子どもたちの様子を聞きながら、定例会でそれぞれの地区にどのような問題があるのかなどを話し合っています。



定例会の様子

課題は、応急仮設住宅が学校のグラウンドや児童公園に建っているため、子どもたちの遊び場がなく、盆踊りなどの地区の行事もできないことです。早期の災害公営住宅の完成が望まれます。

(3) 全国の皆様に

このたびの震災では、多くの心温まるご援助をいただきありがとうございます。

震災発生から 3 度目の春を迎えましたが、復興の兆しはなかなか見えてきません。本格的な復興にはまだまだ時間がかかるとおられます。

今後とも見守り、励ましなどよろしくお願ひします。